爽風

～『主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する生徒の育成』～
～「凡事徹底」、そして「自己への挑戦」・「他への貢献」～

南中

西合志南中学校
学校通信
令和5年9月19日
第　6　号
発行責任者
大山　寛
井上　竹久

さあ、前に進もう
~そして、これまでの振り返りを~

八月二十八日に後期後半がスタートして約三週間が過ぎようとしています。その間、前期期末テストが実施されました。現在は返却期間中ですが、結果だけに一喜一憂するのではなく、間違えた箇所を中心に見直す事が大切です。

さて、十月六日の前期終業式まで、あと少しとなりました。これを節目として、学習や生活について今一度振り返る機会としていただければ思います。

後期に入ると、一年生は集団宿泊教室、二年生は修学旅行が実施されます。また、西南文化の日や合唱コンクールなども控えています。三年生はそれに加えて進路のことも考えなければなりません。十月末には共通テストが実施され、十一月には三者教育相談など、次から次へとやるべき事が押し寄せて来ます。忙しさのあまり、様々な事がなおざりにしてしまいます。だからこそ、今のうちに前期の締めくくりとしてこれまでの振り返りを行うことが大切なのです。

その振り返る内容は人それぞれだと思いますが、西南中全体で見ると、今年度の前期は学習面や生活面で周りからも高い評価を頂きました。この調子で後期も頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

引き続き、感染拡大防止にご協力をお願いします

ここ数日、ニュースでも感染症についての報道が多くなってきました。本校では、特にインフルエンザが多くなってきております。

生徒達には、感染拡大防止のためにマスクの着用や教室の換気、手うがい・手洗いなどについて伝えています。ご家庭でも体温チェックや健康観察を行っていただき、発熱や体調不良など少しでも体調にご不安がある場合は登校についてもご用心いただければと思います。

ご不明な点は学校へお尋ねいただくようよろしくお願いします。

生徒達の頑張り～朝の登校時～

現在、本校では朝の登校を充実させるための取組を行っています。本校では「8時正門通過」が約束になっておりますが、良い一日のスタートを切るためにみんなで時間までに正門を通過できるように声かけを行っているところです。生徒会執行部のメンバーが「あと2分です」「間に合いますよ」などの声かけを行ってくれることで、全体の意識が向上してきました。先週までは、決して少なくなかった遅刻者（8時通過できなかった人）も、現在は10名程度となり、10名を切る日も出てきました。まさに「やればできる」西南中生を体現してくれました。今後も継続するため、時間に余裕を持った出発ができるように、ご家庭でもお声かけをどうぞよろしくお願いします。

「朝からの声かけありがとう！」生徒会執行部に先生達からもお礼の言葉をかけている所です

朝の登校の様子です。8時には周辺の交通規制が解除されるため、それまでに登校して安全を確保する必要があります。

校長室便り

No.06
校長　大山　寛

西南中、合志市内小中学校の共通取組には意味があります！

前期後半が始まりました。みなさんは、夏休みに、何かに「一生懸命」に取り組むことができたでしょうか？　まずは、皆さんが自分の命をしっかりと守って前期後半を迎えてくれたことに嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、夏休みに入り、県・九州・全国中体連、県吹奏楽コンクール、新チームでの大会等もあり、西南中の生徒の皆さんも活躍をしてくれました。「自己への挑戦」でもあり、「他への貢献」でもあったと思います。

さて、前期後半は今日から十月六日（金）までとなっています。まずは、学校生活を充実させてください。その際、これまでと同様に「凡事徹底」、そして「自己への挑戦」「他への貢献」を目標に、ぜひ、「当たり前の事は当たり前に」、そして「自分のためにがんばる」、「まわりの人に迷惑をかけない・ボランティア等で貢献する」等を意識して生活をしていってほしいと思います。

話しは変わりますが、合志市内の小中学校ではすべての学校が行っている共通した取組がいくつかあります。これらの共通した取組には一つ一つ行う意味があります。

例えば、授業のはじめや終わりなどの挨拶は「先語後礼」を行っています。挨拶をするとき、先に言葉を言って、後で礼をすることです。これは、今の皆さんや将来の皆さんに役立つ取組です。具体的に言うと、道ばたで知り合いの方を見かけて挨拶をするとき、先に礼をして、後に「こんにちは」等と言葉を出しても、自分が礼やお辞儀をしたことを、相手の方には気づいていただけません。ですから「先語後礼」で、先に「こんにちは」等と言葉を先にかけて、相手の方に自分の方を見ていただいてから目をみて、礼をすることが大切です。「先語後礼」を身につけることが現在もこれから社会人となる上でも大切な取組となります。

また、授業前の「黙想」も合志市内の小学一年生から中学三年生までの共通の取組です。この授業前の「黙想」にも意味があります。休み時間と授業時間の気持ちの切り替えをして、落ち着いて学習に入ると学習効果が上がります。ですから授業の時だけではなく、試合やここ一番の大きな取組の前に黙想をして気持ちを落ち着かせ、取り組んでみてください。より大きな力・パフォーマンスを発揮できると思います。

その他に、無音掃除や無言入退場、返事や挨拶など、本校だけでなく合志市内小中学校で取り組んでいる共通実践があります。ここでは確認はしませんが、これらの取組にも大きな意味があります。

皆さんも西南中の生徒、合志市の一員としてこれらの共通実践を凡事徹底し、自己への挑戦、他への貢献へとつないでいってください。

前期後半の皆さんの活躍を期待しています。

（前期後半開始集会校長講話より）

凡事徹底＝　誰にでもできることを
誰にでもできないくらいやる
By　イチロー（元プロ野球選手）